

小金井市環境市民会議・運営会 御中

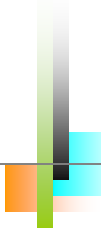


小金井市環境市民会議・新公式Website
運用管理講習
2019年第2回

JIMDO PROシステムを基本とした
複数運用担当者による情報更新、基本設計学習のために

Ver.1.0

17 March, 2019



目次

●JIMDOによる基本設計と運用考え方

新システムの紹介と今回の講習会の位置付け	3
その1：現在の開発状況を見る＞ログイン	4
その2：今回のデザインについてと改良がしやすいかを知る	5
その3：担当による更新は何を？どの部分を？	6

●その4：基本は、広報セクションが作業するので、承認・校正を

7

●事務局、各部会よりの素材提供確認と提供依頼について

8

●さあ、いよいよ投稿体験へ 情報更新体験実施

9-10

自分のしやすい情報更新、投稿環境を考え、体験する（PC、またはスマホ）

●今後へのお願い

わからなくなったらどうする？	11
事務局の中に広報担当を	12

JIMDOによる基本設計と運用考え方

新システムの紹介と今回の講習会の位置付け

- JIMDOというシステム内でのHP開発を進めています。

JIMDOの利点ID

○Webブラウザでアクセスして、
編集＞HPの改善、構造の変更、記事の
投稿など全てができます。
ただ、そのためには専用のID(メールアドレス)とPWでログインすることが必要です
。

○現在記載している内容は、あくまで案です、必要なことがあります。

- 1)情報について権限を持っている方の承認・校正
- 2)必要だがまだ準備できていないもの(画像、その他)の提供



○再校正し、確認後に公開予定です。

＜今回の講習会作業＞

○基本的なHPの構造の理解と承認
構造を変えるには時間がかかるので、
基本構造は承認いただく必要があります。
後日改善は可能です。

○記載してある情報、または必要だが記載
していない情報をそれぞれの権限者に以下の
部分の確認をお願いします。

役員＞環境市民会議について
各部会長＞各部会のコーナー
情報アップする担当者＞トピックスの投稿の
仕方を学んでいただきます

校正は後日時間のあるときにネット上で
みていただいても結構です。返事:22日まで

JIMDOによる基本設計と運用考え方

その1：現在の開発状況を見る

- JIMDO内での開発中＞ログインしないと一般には見られない状況です。
 - 「Website上には無い場所で試験的に作業が可能」＞間違った情報がWeb上に配信されないようにするため＞確認・承認を受けて、公開へ

作業の仕方：
WEBブラウザで

ログイン場所を探す

<https://account.e.jimdo.com/ja/accounts/login/>
＜検索する場合は、「JIMDO ログイン」を検索＞

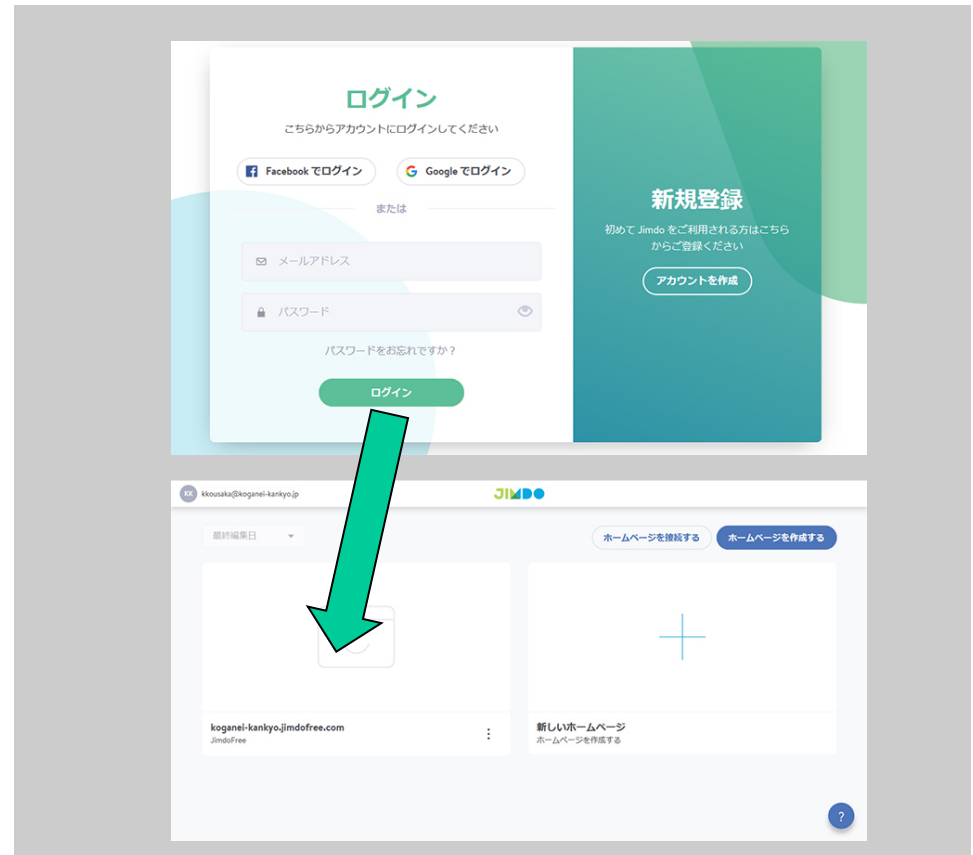
ログイン画面から：
ID(メールアドレス)と
PW(*****)で

ログインし、左側の□にカーソルを
合わせて、編集作業を実施する・
閲覧のみも可

＜必ず作業後に要保存＞

注意：接続はしない

作業後にログアウトし、ログイン画面に
戻って終わる



JIMDOによる基本設計と運用考え方

その2 今回のデザインといかに改良しやすいかを知る

- JIMDOデザインとは
 - 「基本無料テーマから選定」

そのために自由度は低いが、いつでもデザイン技術を習得していなくても、テーマ変更や画像変更によるイメージ刷新が可能。

<現状は、左端のRigaというレイアウト=テーマを採用中>

左上: 管理メニュー>デザイン>
レイアウト>右上の×をクリックして戻る



JIMDOによる基本設計と運用考え方

その3 担当による情報更新は何を？どの部分を？

- 何を更新するか？

- 「情報内容と更新頻度を考えて単純に

一番よく更新するコンテンツとは？：> **お知らせ機能としてのトピックス**

トピックス(一般への告知、報告、お知らせ、会議録などや活動の報告が主)>簡易がブログ形式の更新形態

限定アクセス領域もありますが、今回は試験。：会員、部員間の連絡、部員からの報告を可能にする機能です。> ゲストブック形式の相互コメント形式が簡単。

さらに重要な点：**一般からの問い合わせ受け**(無料版は1アドレス受けのみだが、Pro版は、問い合わせフォーム設計と複数のメールアドレス受けが可能に)

重要なポイント

広報機能としてのコンテンツ選定に関する考え方

「誰に何を伝えるか」を明確にする。

JIMDOによる基本設計と運用考え方

その4 作業は、広報セクションが担当するので承認・校正を

- 各公開までに必要な項目・情報・画像の説明

- 「サイト全容説明と質問受け」

コンテンツの考え方: > 何を更新することを予定しているか? 基本は、最新情報アップと旧サイトのデータ移行の同時進行

会議録、報告や各部会コンテンツ > 最新のものをアップ

旧サイトコンテンツや不足していた情報配信 > 旧サイトのものを古いものから順次アップして、現在までのものを1年以内に掲載予定

重要な改善点:

1) いままでできていなかった環境市民会議についての詳細情報(各会議録の保存管理や環境政策課の事業告知、こがねい環境ネットワークとの連携など様々な関連団体、連携団体の情報配信などトータルな環境関連情報の配信、個人情報保護の設定<サイトのプライバシー・ポリシー案を作成、団体自体の同案も検討が必要>)の整備

2) 一般からの入会申込みや問い合わせ受け

(無料版は1アドレス受けのみだが、Pro版は、問い合わせフォーム設計と複数(部会別や内容別)のメールアドレス受けが可能に)

基本設計のための素材整備

事務局、各部会よりの素材提供確認と提供依頼について

- 必要な最低限の画像とコメント説明文とは
 - 「部会紹介と部会詳細の内容確認」

画像: > ①主な活動紹介コーナー

トップの背景とスライド画像 > 大きなサイズ(1:2の横長)のものを加工して利用。背景はそのまま、部会コーナーでは、部会名を記載した画像に加工するなど
各部会の説明文の上の画像も共通 >

説明文: 主な活動紹介のトップページ

1)現状のパネルや市民会議リーフレットの文を掲載中 > 要確認と校正 > 要リンク先選定(外部ブログorサイト内コンテンツ設計 <部会詳細コーナーに順次掲載可能>)

より詳細な現在の部活動紹介投稿: 部会活動詳細のトップページ

2)最新の活動写真と投稿文(サンプル参照) > トピックスに投稿してもらっても良い。または、画像、文章を送付してもらい、管理側でアップも可能にします。

情報更新体験実施

第1回>ログインから、トピックス投稿

左上: 管理メニュー>ブログ>ブログを書く

- トピックスストップには全ブログコンテンツが画像と見出し、投稿文で掲載(横2段形式)で表示されます。
- また設定された「ブログテーマ(現在、4テーマ)」ごとに区分されて表示されます。

ブログ投稿体験

(テーマ、カテゴリー設定後に会議のスマホでの撮影から、画像アップまで)

自分の利用しやすい環境での投稿をテスト

撮影した写真をアップロード

(基本サイズ: 1000 × 2000pics以内)

データやファイル(Word、PDFなどの形式)もアップできます。

**自分での投稿が不安な場合は、
写真と文をこちらにお送りください。アップしますので、
その後確認して、修正点をご連絡ください。**

情報更新体験実施

第2回>ログインから、トピックス投稿(スマホの場合)

準備: 専用アプリをダウンロード>CREATOR

- アプリ「CREATOR」を立ち上げ、前述のアカウントでログインする

左上: 管理メニュー>ブログを書く>+をクリック

- タイトル記載>テーマ設定>カテゴリー(必要なら)>コメント受け付けの有無を口に✓
- 文章、写真をそれぞれをクリックしてアップする>公開へ



ブログ投稿体験

(テーマ、カテゴリー設定後に会議のスマホでの撮影から、画像アップまで)

自分の利用しやすい環境での投稿をテストしてみてください。

今後のお願い

わからなくなったら、どうする？

編集状態をそのままにしてログアウト

(途中までの編集内容がなくなってしまうても
致し方ありません。そのままログアウトして、
運営会MLでその投稿作業での不明な点を質問をしてください。
もちろん、その他どんな質問でも結構です。)

皆でこうした情報を共有することで同じことが起きないようにすること
になります。

基本は、トピックスでの投稿ですが、
万一、それ以外の部分での修正でわからなくなっても
同じです。ご安心ください。



今後のHPの作業進捗は運営会MLにて
随時報告いたします。

今後のお願い

今後の様々な情報配信対応のために **事務局の中に広報担当を**

今後の環境市民会議の現状を考えると広報の充実が重要！

事務局内(事務局長の指揮下で作業を担う)に広報担当の設置が必要

(広報と広告の相違への理解が必須。これから参加してくる若年世代への教育も含め、我々高齢世代でも理解できていなかったネットについての理解促進<基礎知識の学習>も重要)

今後の市民会議として必要な情報配信、情報受けの課題について

- 1)従来の連絡以外にHPでの情報配信と情報受け(外部からのメールやコメント受け、twitter、Facebookへの反応)
- 2)ネット上での入会登録受けと応対
- 3)多くの市民、市民活動団体が活発に進めている
Twitter,Facebookでの情報配信とネットワークづくりとの連携
- 4)市民会議のガイドパンフレットの整備
- 5)市役所の公式サイトや市報など行政と連携した情報配信
- 6)既に委員を配している審議会以外の環境関連の審議会や市議会などでの環境関連の情報収集と市民への情報提供
- 7)市内の環境関連の市民団体との情報交換